

# 平成 30 年度 橋梁における低 V O C 塗装塗膜性能追跡調査の詳細結果について

## 1 調査概要

低 V O C 塗装を実施した橋梁において、塗膜の光沢、膨れ、さび等の経年劣化について、調査を実施しています。

## 2 調査結果（ごみ坂歩道橋）

調査項目（調査方法）	結果
調査年月日	平成 30 年 12 月 14 日
塗膜劣化の 膨れ（JIS K5600-8-2）	0（なし）
評価(全体) さび（JIS K5600-8-3）	Ri0（さびの面積 0%）
割れ（JIS K5600-8-4）	3-2 （正常に補正された視力で明らかに認識できる、上塗りは貫通しているがその下の塗膜は割れなし。）
はがれ（JIS K5600-8-5）	2-3（はがれの面積 0.3%、はがれて露出した個々の面積の平均の大きさが 10mm まで）
視覚特性 鏡面光沢度（JIS K5600-4-7）	一定の光沢度を保持 （調査開始数年後から光沢の低下が認められず、耐候性は良好と言える。）
付着性 塗膜の付着性（JIS K5400 8.5.3）	付着性は良好 （①旧塗膜と塗替え塗膜との層間剥離なし、②塗替え塗膜内の剥離なし）
全体評価	<p>調査開始 10 年目の結果は、従来の塗装方法に劣らず良好な状態である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支柱部分については、前年度確認されていた割れが進行していた。その他の部分については、僅かに腐食が侵食していた。</li> <li>・塗り替え塗膜の密着性や耐候性は良好だった。</li> <li>・排水管など一部の付帯設備で腐食量も多いことから、腐食箇所を部分塗替えすることによって全面塗替え時期を延ばすことができると思われる。</li> </ul> <p>※階段内面については、蹴上げ部からのさび汁汚れにより美観を損なっていたため、平成 24 年度に塗替えを行った。</p>



調査地点の様子

